



象嵌網目文壺 2000年

きた たかし
北高
作陶展

国立ハンセン病資料館 特別企画展

TAKASHI KITA Exhibition

2012年

9月23日 日 - 26日 水

開館時間：午前 10 時～午後 4 時 30 分

会場：ギャラリーおやさと

〒632-0016 奈良県天理市川原城町419-2 TEL 0743-63-1511
(内線5875)

観覧料：無料

主催：国立ハンセン病資料館

〒189-0002 東京都東村山市青葉町4-1-13 TEL 042-396-2909 FAX 042-396-2981

後援：天理教啓発委員会 天理教福祉課 天理大学宗教学科成人会



北高 作陶展

TAKASHI KITA Exhibition

本展覧会では、北高(きたたかし)さんによる陶芸作品約30点を紹介いたします。北さんは1932(昭和7)年、兵庫県に生まれました。17歳でハンセン病を発病し、大阪大学で治療を受けていましたが、地域の偏見も厳しく、天理教の信仰に自分の心のより所を求めるようになりました。天理教修養科の課程を経て、信仰の中で自らの生き方を模索する日々を送ることになりました。

1959(昭和34)年、27歳の時に兵庫県の担当官のすすめで長島愛生園に入園。治療と共に、写真や文芸活動にも取り組みました。その後治療のため数回にわたり訪れていた多磨全生園で、リハビリテーションの一環として行われていた陶芸に出会い、1984(昭和59)年、多磨全生園に転園後、さらに多くの作品を生み出していくことになりました。いつしかそれは機能回復訓練の範疇をこえて、確かな生きがいとなっていきました。

園外でも、陶芸室の他のメンバーと共に東京都東村山市や埼玉県での展覧会をはじめ、2004年には島根県立美術館で「多磨全生園陶芸室5人展」を開催するなど、現在も精力的に活動を行っています。

絶望や身体障害をこえて、北さんは自らの生きる意味を陶芸に見出しました。人が生きる尊さのこもったこれらの作品を、この機会に是非ご覧ください。

皆さまのご来場をお待ちしております。



1. 六面壺「滝」(1999年)
2. 鶴首大壺(1999年)
3. 炭化窯変花器(1997年)
4. ふくろう(2006年)
5. 作陶のために工夫された数々の道具

題字 長渡虹郷

会場 ギャラリーおやさと
住所 〒632-0016 奈良県天理市川原城町419-2
電話 0743-63-1511(内線5875)
アクセス 近鉄天理線・JR桜井線 天理駅より徒歩10分

■講演会

9月25日(火) 13:30~15:30 **入場無料**

場所: 天理大学ふるさと会館

北高作陶展に合わせ、儀同政一先生(国立感染症研究所ハンセン病センター客員研究員)と北高さんの講演会を開催します。

[講演会お問い合わせ] 天理教啓発委員会事務局 電話 0743-63-1511(内線5808)

